

執務時の標準的な服装 Q & A

作業着を着ているときは接客をしていないので、少しくらい着くずしていても良いかと思いますが。

直接処遇職場では、事務系職場とは服装が異なりますが、どうしたらよいですか。

今は公務員に対して、非常に厳しい目が向けられている時代です。

作業中で直接接客していなかったり、事務系職場とは異なるスタイルで仕事をしていたりする場合も、お客様（区民）の目は必ずどこかにあることを意識しましょう。いつお客様から声をかけられても良い状態にしておきましょう。

職場の室温にあわせて、袖をまくったり、ネクタイを緩めたりしても良いですか。

袖まくりについては、接客時には避けるようにしましょう。接客時以外もまくり方や、袖裏の汚れなどに注意が必要です。ネクタイは、執務時に緩めるとだらしない印象を与えるうえ、襟裏の汚れなどが見えて清潔感を損ねる恐れがあります。

クールビズでの「軽装」とはどのようなものでしょうか。

執務時における軽装とは、ノーネクタイ・ノー上着を標準とします。これは、カジュアルな服装とは異なるものです。総務課長からの通知にもあるように、軽装による区民の批判を招くことのないように服装の乱れには十分留意が必要です。

クールビズの期間外でもノーネクタイにしても良いのではないのでしょうか。

執務時の基本はやはりスーツスタイルと言えます。職務上スーツスタイルでなくても良い職場もありますが、いつでも正式な場に出られるよう、ロッカーにワイシャツ・ネクタイなどは1セット用意しておきましょう。

接客時以外はサンダル履きでも良いと思いますが。

接客時以外でも、「職員がサンダルなどでぺたぺた歩く姿が見苦しい」との苦情が、区民から多く寄せられているのが現状です。これでは職員としての信頼感を得られません。せめてかかとの固定できるものを履きましょう。